

土地の所在 高松市上林町字本村517-1, 517-3

電柱配置図 (2026.7.14)

土地利用計画図

最終電柱位置図 R8.7

開発許可
年 月 日

第 令和 8 年 3 月 31 日
R7-125 号

申請者

ロータリーハウスホールディングス株式会社
代表取締役 増元 竜彦

作成者
住所・氏名

高松市仏生山町甲2130番地1
土地家屋調査士
宅地建物取引士
二級建築士
岡野上 竜二 (印)

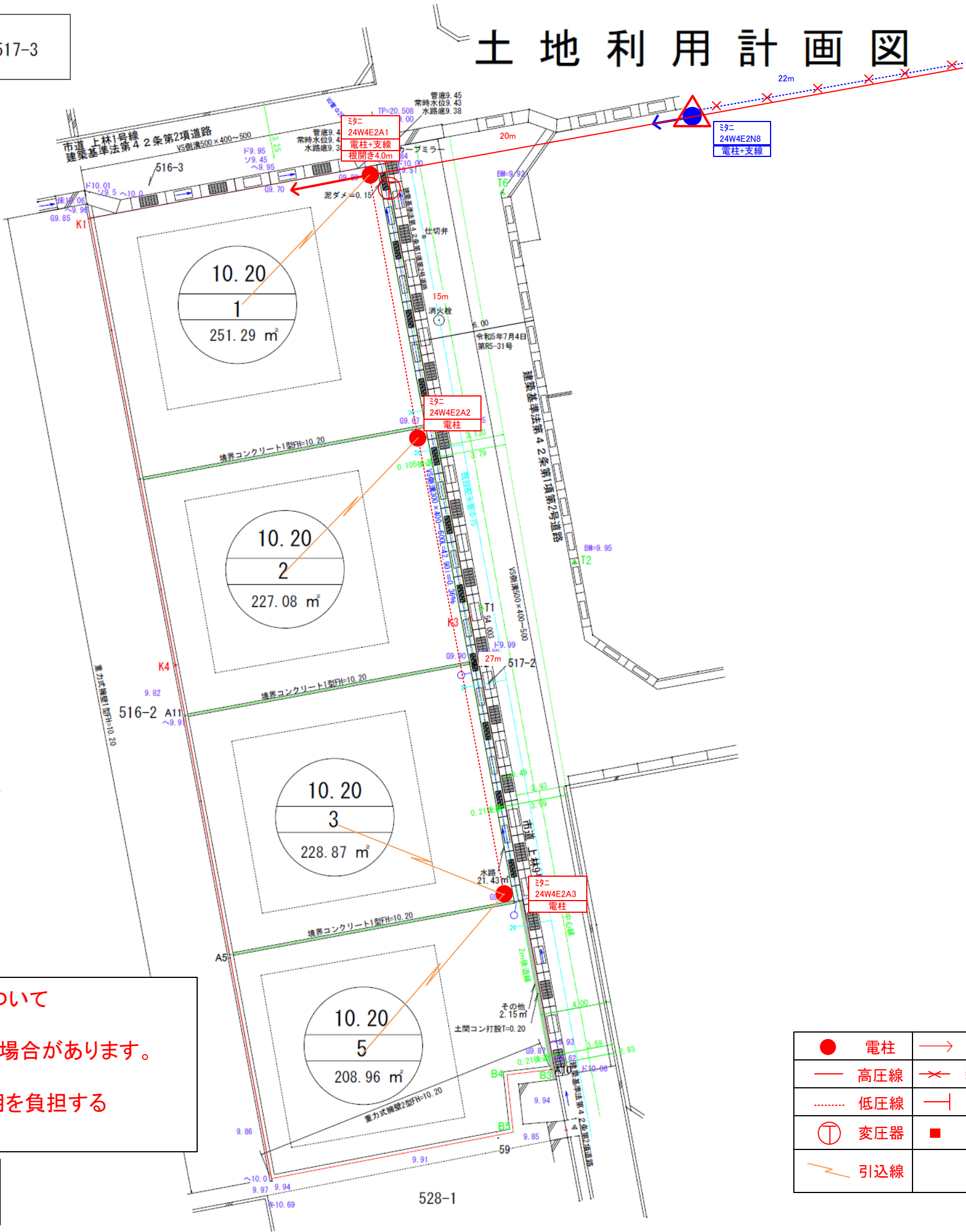
凡 例	
	計画高
	区画番号
	面積
	流水方向
	最終樹φ350 深さ0.9以下 VUφ150 i=19%以上 土被り0.6m 以下、 コンクリート保護
	給水管PP20 量水器
	開発区域界

宅内排水の土被りは20cm以上とする。
開発協議は最終樹から一次放流先までである。
街乗機の放流管は樹の角を穴あけしないこと、管を曲げないこと。
予定建物の用途は（一戸建て住宅）とする。
本管上での取付間隔は1m以上確保すること。
図面内の高さの表記は任意高さとし、KBMで標高(T.P.表示)換算している。
施工前に地下埋設物の確認を行うこと。
本開発区域に隣接して本開発許可の完了公告日からみなし年数以内に開発行為を行う場合
及び本開発区域内の公共施設を変更する場合は、建築指導課と協議すること。
開発区域内の法定外水路については構造のみ審査対象とする。放流の同意については
管理者と十分に協議を行うこと。
30cm未満の高低差に用いる土留め壁は、審査対象外であるので設計者の判断による。
宅地造成及び特定盛土等規制法の許可を受けたものとみなす。
合併処理浄化槽の処理水は宅内最終樹を経由して放流すること。

※その他、引込線が道路横断となる場所について
平屋等で地上高5.0mを確保できない場合、
お客様側にて引込ホールの新設が必要となる場合があります。

※建柱後の電柱移設は申出者にて移設費用を負担する
可能性があります。

縮 尺 S=1:250



	電柱		支線
	高圧線		架空支線
	低圧線		支柱
	変圧器		中間分岐
	引込線		

電力柱: ●
NTT柱: ○

新設: ●
既設: ●